

# MindBoard 2 ユーザガイド

Tomoaki Oshima

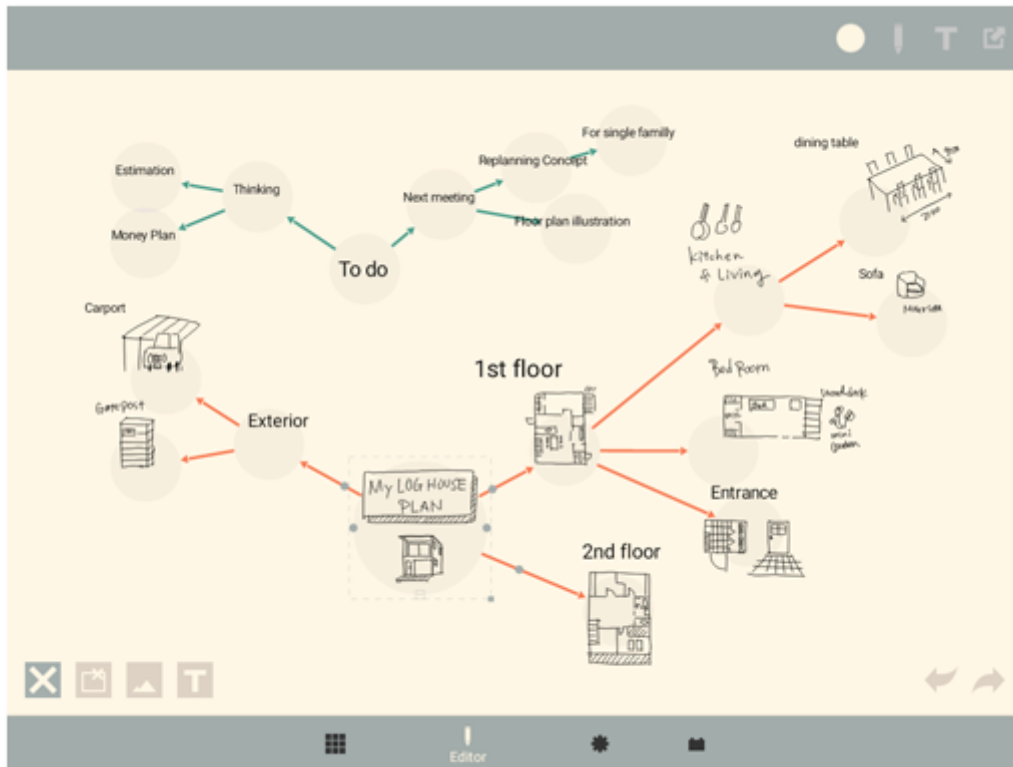
# Table of Contents

MindBoard 2 ユーザーガイド .....	2
1. イン트로ダクション .....	3
1.1. 概要 .....	3
1.2. コンセプト .....	3
1.3. 主な特長 .....	3
1.4. 必要な環境 .....	4
1.5. インストール .....	4
1.6. 連絡先 .....	4
2. MindBoard 2 の使い方 .....	5
2.1. 概要 .....	5
2.2. (1)ファイル管理画面 .....	5
2.3. (2)メイン画面 .....	8
2.4. (3)設定画面 .....	13
2.5. (4)プラグイン画面 .....	14
3. 開発中の機能 .....	17

このドキュメントは MindBoard 2 Version 0.7.1 について説明しています。

# MindBoard 2 ユーザーガイド

# Chapter 1. イン트로ダクション



## 1.1. 概要

MindBoard 2 は シンプルなAndroid タブレット向けの手書きマインドマップ作成支援アプリです。

指での入力/スタイラスでの入力のいずれかに対応しています。

もし使用中の Android タブレットがスタイラス対応デバイスであればスタイラス対応のアプリとして、そうでなければ指による入力対応のアプリとして起動します。

## 1.2. コンセプト

シンプルで普通。

タブレット上で思考をストレスなく書き出していくアクティビティが普通にできるアプリを目指しています。

## 1.3. 主な特長

- スタイラス/指を使った思考のアウトプット
- ひとつのドキュメント内での複数センターノード（マインドマップ）の作成に対応
- PDF エクスポート (有料プラグイン)
- 画像の挿入/テキスト入力の対応
- Google Drive 対応

など。



今後対応予定の機能の詳細は、  
セクションを参照ください。

このドキュメントの

開発中の機能

## 1.4. 必要な環境

- Android 4.4 Kitkat 以上の Android タブレット



S Pen (Samsung) や Z Stylus (ASUS) 対応の  
Androidタブレットで、もっとも使いやすくなることを想定してデザインしています。

## 1.5. インストール

Google Play から [MindBoard 2](#) を入手します。

## 1.6. 連絡先

何か不明点等がございましたら、こちら [連絡先情報](#) までご連絡ください。  
ご要望などのフィードバックをいただけると幸いです。

アプリの更新情報はこちらのページ [Facebook](#) / [Twitter](#) をご覧ください。

# Chapter 2. MindBoard 2 の使い方

## 2.1. 概要

MindBoard 2 は以下の4つの画面から構成されています。

- **(1)ファイル管理画面** 作成したマインドマップを一時的に保管するためのバッファ画面
- **(2)メイン画面** マインドマップを編集する画面
- **(3)設定画面** 各種設定を行う画面
- **(4)プラグイン画面** 拡張機能のインストール・管理画面

これら各画面の切り替えは下部のナビゲーションを使用します。

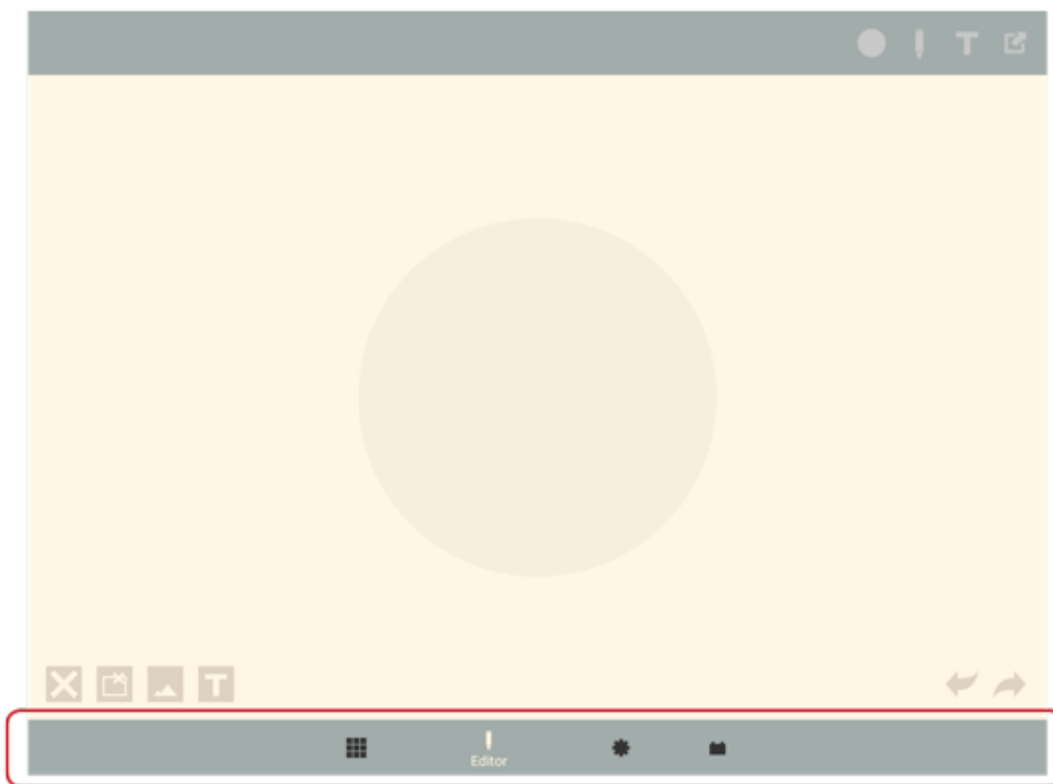


Figure 1. ナビゲーション

## 2.2. (1)ファイル管理画面

ドキュメントの管理画面です。  
プライマリ / アーカイブ の2つのフォルダがあります。

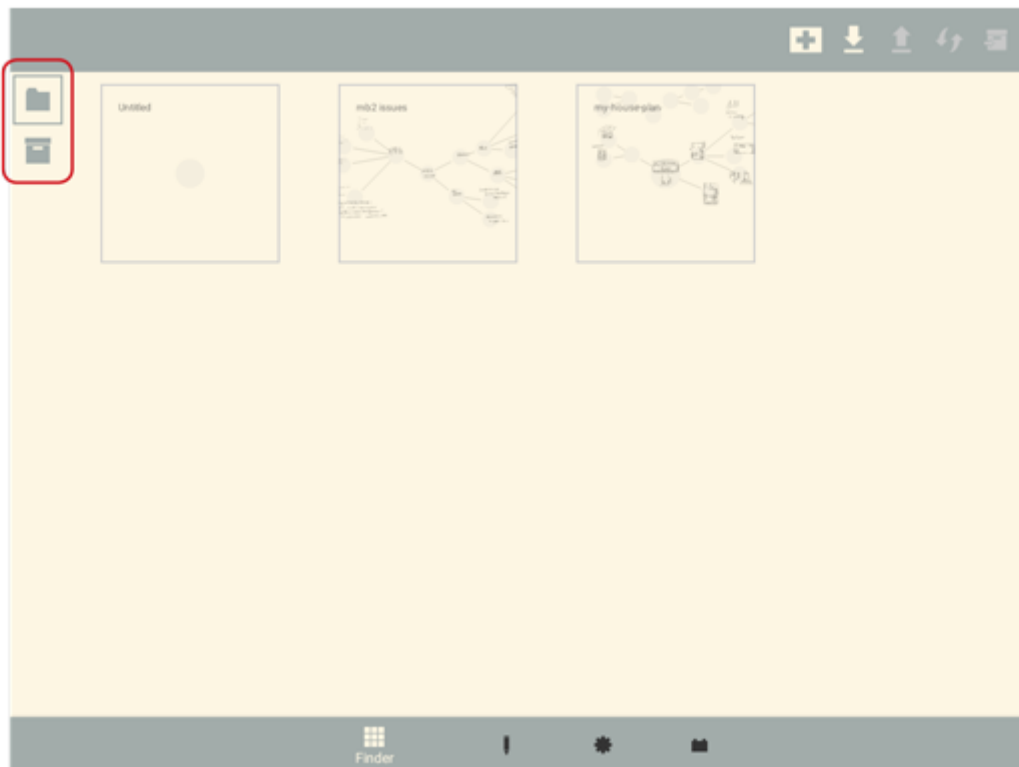




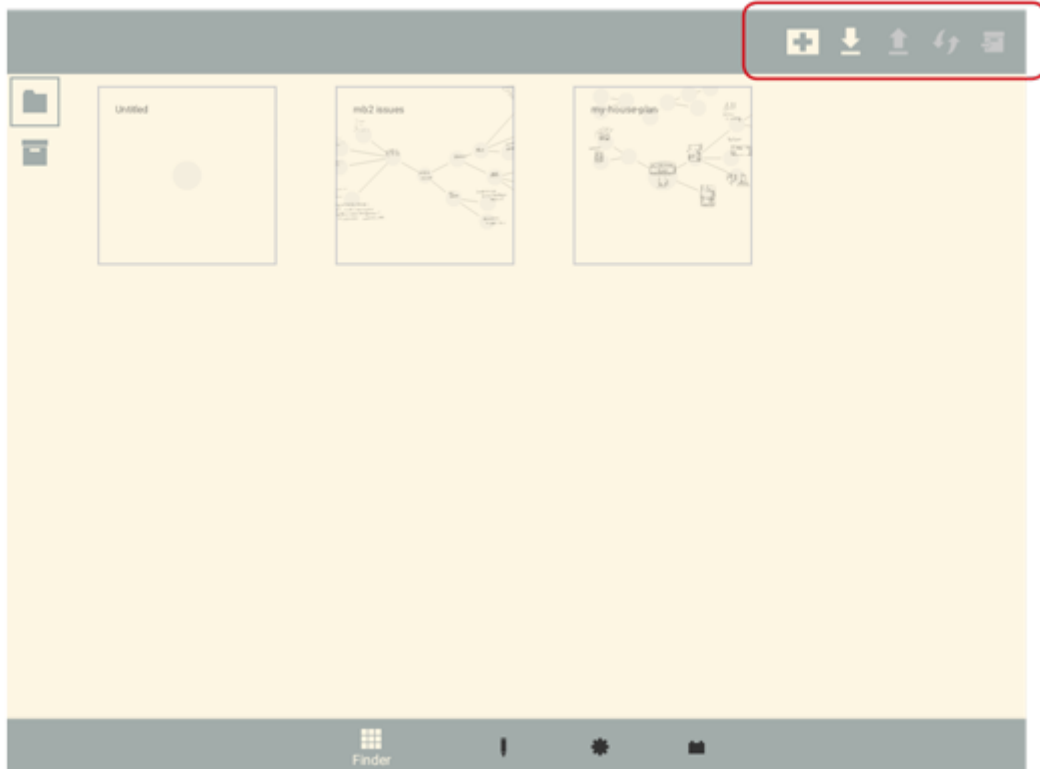
Figure 2. フォルダ切り替え






-  プライマリ /  アーカイブ を切り替えるには左上にある該当のアイコンをタップします。

### 2.2.1. プライマリフォルダ

プライマリドキュメントを管理します。

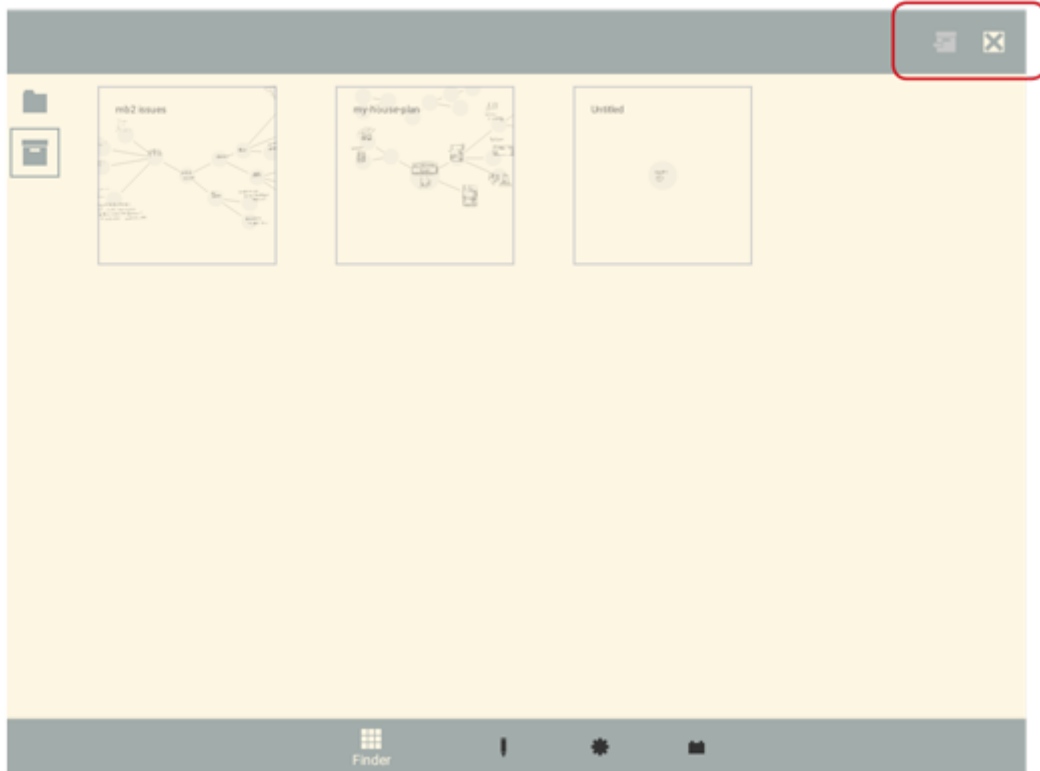






-  新規ページを追加します。
-  ページを Google Drive から開きます。
-  選択中のページを Google Drive に名前をつけて保存します。
-  選択中のページを 該当する Google Drive File にマージします。
-  選択中のページを アーカイブフォルダ に移動します。

### 2.2.2. アーカイブフォルダ

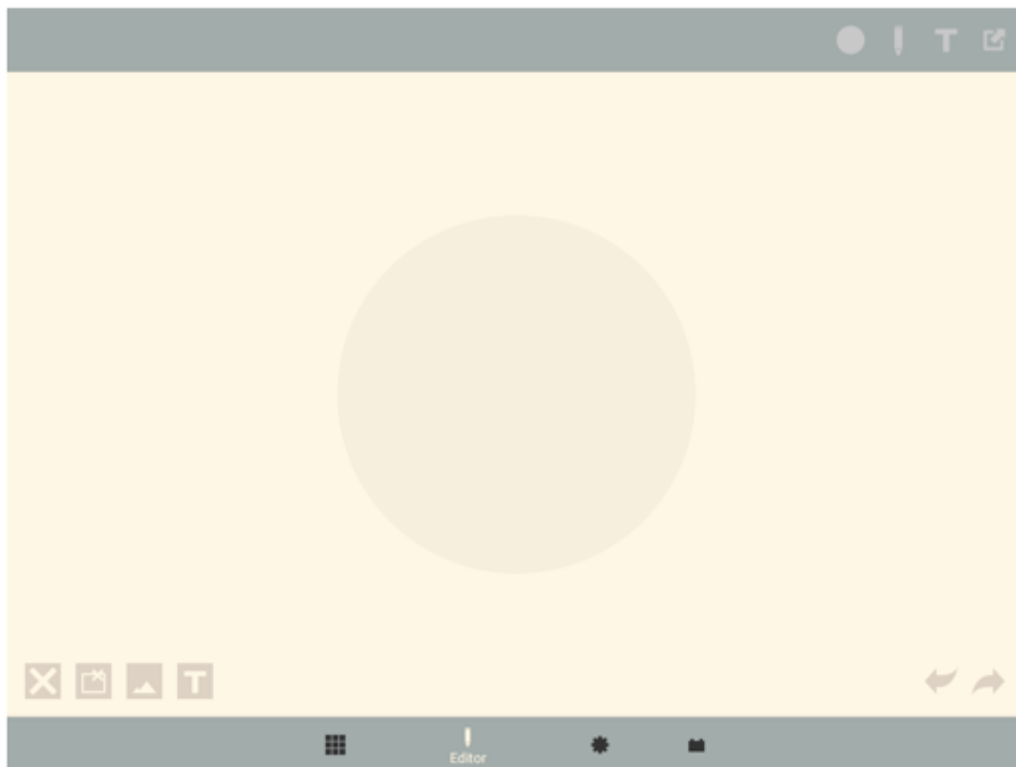
アーカイブドキュメントを管理します。



-  選択中のページを プライマリフォルダ に戻します。
-  アーカイブフォルダ中のファイルを全て削除します。

## 2.3. (2)メイン画面

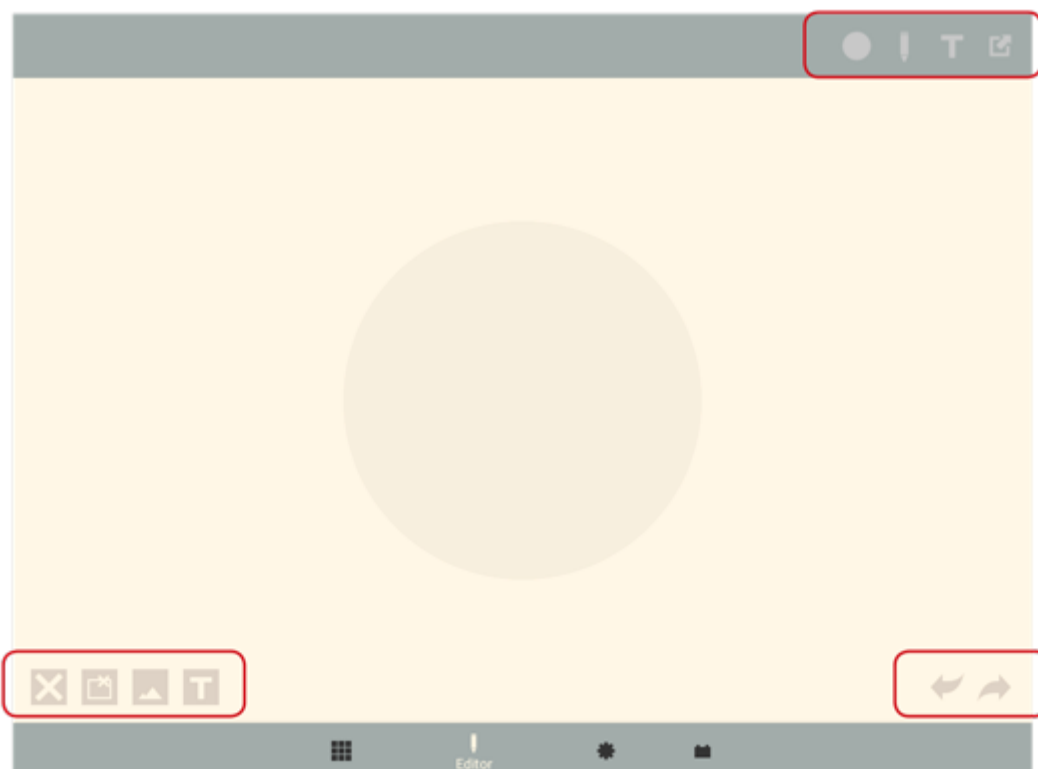
メイン画面ではマインドマップを編集します。





メイン画面は マップ編集モード と ノード編集モード の2つのモードから構成されます。

### 2.3.1. マップ編集モード

ノードを自在につくりながらマインドマッピングを行うモードです。





## 右上ツールバー

-  選択中のノードのブランチカラーを変更します。
-  編集中のドキュメントを PDF として Google Drive に保存します。

## 左下ツールバー

-  選択中のノードを削除します。

## 右下ツールバー

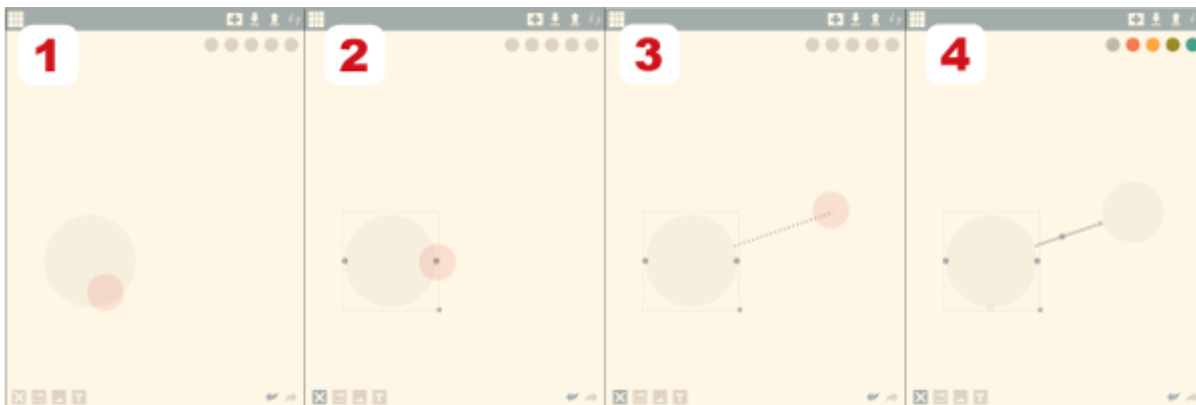
-  アンドゥします。
-  リドゥします。

## ノード編集モードへの切り替え

ノードをダブルタップします。

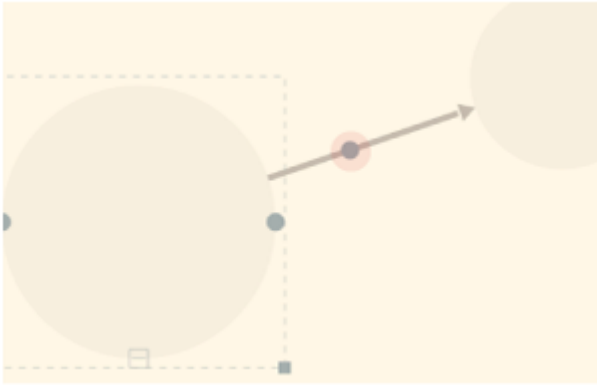
## 子ノード作成方法

子ノードを作成するノードの左または右に表示されるハンドルを使用します。



1. ターゲットとなるノードをタップして選択 →  
子ノード生成ハンドルがターゲットノードの左または右に表示される
2. 子ノード生成ハンドルをドラッグ
3. 適当な位置でドラッグを終了
4. 子ノードが生成される

## 親ノードと子ノードの連結解除



親ノードを選択すると、親ノードと子ノードを結ぶブランチの上の中間点にノード連結解除ハンドルが表示されます。

そのハンドルをドラッグして、親ノードと子ノードの連結を解除します。

連結を解除した子ノードはセントラルノードに変わります。



子ノード生成ハンドルをドラッグして、セントラルノードに重ねることで、そのノードを再度別の親ノードと連結できます。

#### ノード位置の移動

ノードをドラッグします。

#### ノードのリサイズ

ノードを選択して、ノードの選択ボーダーの右下をドラッグします。

#### ノードの折りたたみと展開

ノードを選択して、ノードの下の部分に出現する 折りたたみ/展開 ボタンをタップします。

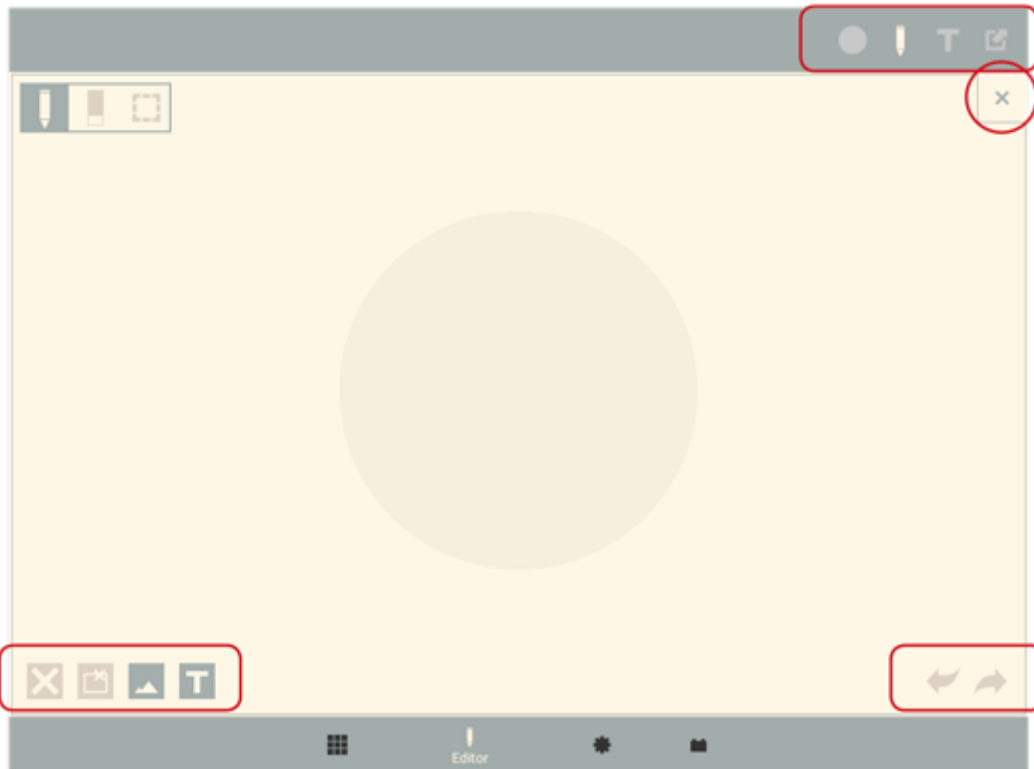
#### ノードの削除

ノードを選択して、編集ツールバーの削除アイコンをタップします。





### 2.3.2. ノード編集モード




ノードにアイデアを書くためのモードです。





#### 右上ツールバー

-  ペンの色を設定します / 選択中のグループに含まれるストロークの色を変更します。
-  選択中のテキストの色を変更します。

#### 左下ツールバー

-  選択中のグループを解除します。
-  画像を挿入します。
-  テキストを挿入します。

#### 右下ツールバー

-  アンドゥします。
-  リドゥします。

#### 右上

-  マップ編集モードに戻ります。



ネイティブスタイルモードでは、指を使ったダブルタップジェスチャーでもマップ編集モードに戻ることができます。

## ツールスイッチャー



ペン / 消しゴム / 選択 / ズーム の4つのツールがあります。  
ツールの変更はツールスイッチャーから特定ツールをタップします。



現在のところペンの色は黒のみです。  
将来プラグインとして複数の色や太さのペンを提供予定です。

### ツールスイッチャー（ネイティブスタイラスモードの場合）



ペン / 消しゴム / 選択 の3つのツールがあります。  
ツールの変更はツールスイッチャーから特定ツールをタップします。

### ストロークのグループ化

複数のストロークをまとめてグループにすることができます。

グループ化するには、ツールスイッチャーで選択ツールを選択した状態で、対象となるストロークを指またはスタイラスで囲みます。

グループに対して以下の操作が可能です。

- ・グループ内のストロークの色を変更
- ・グループのリサイズ
- ・グループの解除
- ・グループの削除

## 2.4. (3)設定画面

各種設定を行います。



- Use Native Stylus : ネイティブスタイルを使うかどうか。  
S-Pen, Z-Stylus  
Androidタブレットを使用している場合にチェックします。

のようなデジタイザー対応の

## 2.5. (4)プラグイン画面

拡張機能の一覧です。

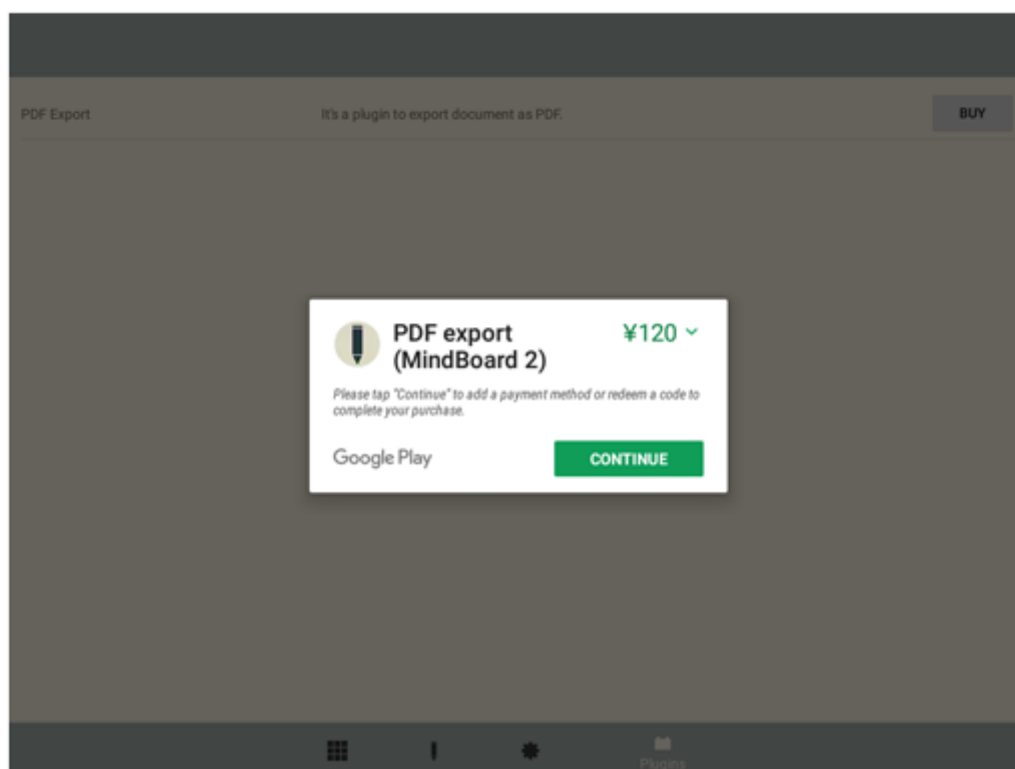




現在のところ、拡張機能は **PDF Export** プラグインのみの提供です。

### 2.5.1. 購入方法

**BUY** ボタンをタップすると、購入プロセスに入ります。



**PDF****Export**

プラグインを購入すると、メイン画面で

PDFエクスポートボタンが使用可能になります。

# Chapter 3. 開発中の機能

今後のバージョンアップで以下の機能に対応予定です。

- 別のマップへのリンク
- 以前のバージョンのMindBoardデータの読み込み
- テーマカラーの変更
- ペンの色と太さのカスタマイズ機能